

令和4年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	22 東京都台東区立くらまえ高齢者在宅サービスセンター	指定管理者	社会福祉法人東京援護協会	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H31.4.1	～ R6.3.31

1. 施設及び事業の概要				
(1)	[設置目的]	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。		
(2)	[所在地]	台東区蔵前2-11-7		
(2)	[規模]	延床面積 3,937.96㎡のうち574.55㎡ SRC造地上7階地下2階のうち6階の一部 在宅サービスセンター、デイルーム、機能訓練室など		
(3)	[委託事業]	①通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等） ②介護予防通所介護（送迎・入浴・食事・日常生活上のケア・健康チェック・生活相談等）（定員30名）		
(3)	[自主事業]	自主事業は行っていない。		
(4)	[利用者]	要支援・要介護と認定された高齢者		
(4)	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
(5)	[開館日・時間]	月曜日から土曜日（年始1月1日～3日を除く）午前8時30分～午後5時15分		
(6)	[人員体制]	12名 （内 訳）次長（1）相談員（1）介護職員（常勤6 非常勤2）看護職員（常勤1 非常勤1） 機能訓練指導員（非常勤2）←特養と兼務 （前年増減）1名減（介護職員：派遣1名減）		

2. 予算決算		R2予算	R2決算	R3予算	R3決算
収入	委託料（指定管理料）	10,466,000	16,966,000	18,908,000	15,497,681
	利用料金収入	93,366,000	70,465,493	85,429,000	66,974,148
	その他収入（利用者等外給食費等）	4,839,000	2,597,300	1,218,000	653,000
	計	108,671,000	90,028,793	105,555,000	83,124,829
支出	人件費	77,495,000	68,555,746	73,514,000	61,983,494
	光熱水費	3,760,000	3,604,587	4,080,000	3,750,316
	維持管理費（委託料・賃借料）	15,368,000	15,540,195	15,368,000	15,277,458
	修繕費	300,000	169,928	360,000	61,050
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（給食費等）	11,748,000	9,507,192	12,233,000	9,263,723
	計	108,671,000	97,377,648	105,555,000	90,336,041
収支			-7,348,855		-7,211,212

3. 活動指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
開館日数	日	310	310	308	308
定員	人	30	30	30	30

4. 成果指標	単位	(目標値)R5年度	R元年度	R2年度	R3年度
利用率	%	72.0	88.1	71.4	66.8
利用者数	人	6,700	8,196	6,599	6,171

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況					
重度の障害を持つ方や、自宅での入浴が困難な方、医療処置が必要な方を積極的に受け入れる等、収支改善に努めた。					

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	法令を遵守し、事業計画書・報告書等も適切に作成・提出している。新型コロナウイルス感染防止対策による業務量の増加は職員の負担になっているが、出退勤の把握及び記録による労働時間の管理など労働環境の整備を図っている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
18 / 20 点	重度の障害を持つ方や、自宅での入浴が困難な方、医療処置が必要な方を積極的に受け入れたが、新型コロナウイルス感染者発生による休業や、空調改修工事期間の移転営業(利用時間・定員の縮小)の影響、長期入院や施設入所等で利用者数は減少した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	感染症委員会や衛生委員会を毎月実施。安心して利用していただけるよう、新型コロナウイルス感染防止対策等の衛生管理を徹底して行った。デイサービスは約1か月間の移転営業となったが、区と調整し、6Fの空調改修工事を無事に実施することができた。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	自宅での入浴が困難な方を優先し、入浴希望者を積極的に受け入れ、機械浴・一般浴サービスを提供した。理学療法士・作業療法士・看護師が連携し、リハビリ機器による機能訓練を個々の状態に合わせて行うなど、利用者の身体的・精神的活動性の向上に努めた。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	新型コロナウイルス感染症陽性者発生に伴う休業と、空調改修工事期間の移転営業(利用時間・定員の縮小)による利用料金減収は不可抗力であるが、マイナス収支となった。マイナス幅は多少改善したものの、引き続き利用率向上への取組みが望まれる。

(6) 優れた取組み ◀加点項目▶ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
— 点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (94 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>重度の障害を持つ方や医療処置が必要な方などを積極的に受け入れ、家族の負担軽減に努めている。リハビリ機器を使用した機能訓練を個々に合わせて行うなど、利用者の自立支援に取り組み、常に在宅高齢者の福祉向上に寄与している。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>新型コロナウイルス感染者発生による休業や、空調改修工事期間の移転営業、長期入院や施設入所等により、令和2年度に続きマイナス収支となった。コロナ禍ではあるが利用率向上への取組みが望まれる。</p>